これからの垂水高校 4

明るく和やかに、真剣に学び責任を持って実行する。

最後は、引率として同行された垂水高校教諭の伊伏達先生にお話しをお伺いしました。伊伏先生は、平成23年から垂水高校に勤務し、現在2年生の担任をしています。また学校行事の撮影や、フリーマガジン「たるたま」の発行などの広報も担っています。

Q実際参加されていかがでしたか？

「正直、参加した生徒たちがうらやましかったです。将来を考える今の時期に、このような貴重な体験ができるということは、本当にありがたいです。」

Q生徒たちの変化を何か感じていますか？

「色々な心の動きがあったようですが、やはり一番は『やる気スイッチ』が入ったことではないでしょうか。」

Q今回参加できなかった生徒たちにどのように伝える予定ですか？

「週1で行われているミーティングの中で、参加した生徒たちの生の声を伝えていくつもりです。もちろん、広報誌やブログ、学校紹介パネルなど、地域の方々や中学生にも今回の経験を広く伝えていければと思っています。」

今回の体験をパネルにまとめる様子

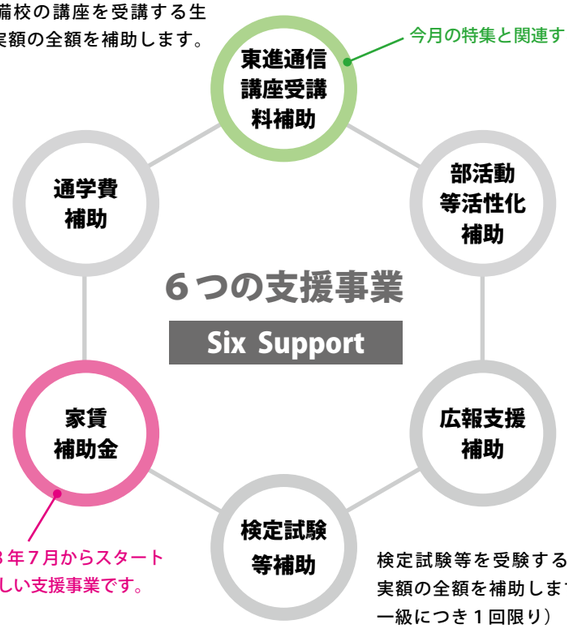
垂水市の広報では、平成15年度から今日まで、垂水高校の広報支援を行ってまいりました。そんな私たち広報だからこそ分かることがあります。それは学校の魅力が増していることです。生徒と先生が同じ時間を過ごし、その時々を全力で取り組むことで、それは伝統となり魅力となります。中学生の皆さん、自分の夢を見つめた時に、地元高校の垂水高校に進学する選択肢もあると思います。ぜひ、垂水高校への進学を考えてみてください。垂水市は今後も垂水高校を支援してまいります。

「明るく和やかに、真剣に学び、責任を持って実行する。」この言葉は、この夏休み期間中に、生徒会の生徒たちが制作した巨大パネルの言葉です。生徒たち自ら発信する言葉に、更なる飛躍を遂げようとする、垂水高校の今が表現されているように思えます。

◎伊伏先生

5 最後に、垂水市の垂水高校支援をご紹介！

6つの支援事業～ Six Support ～



東進衛星予備校の講座を受講する生徒の受講料実額の全額を補助します。

通学定期実額の3分の2の額を補助します。（8月1日～31日の通学定期実額は、補助対象外となります。）

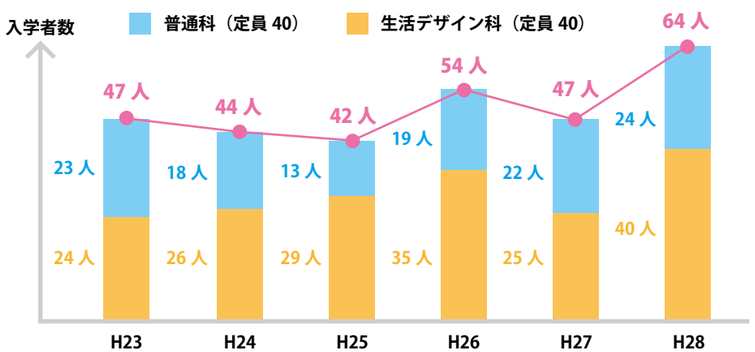
部活動の活性化と学校のイメージアップを図る部活動等に対し、指導者謝金や活動費等を補助します。

市内に一人で賃貸住宅等に居住する生徒に対し、家賃相当分を補助します。（上限額は月2万円です。）

学校のイメージアップや地域振興を図る広報活動に対し、フリマガ発行等の作成費等を補助します。

検定試験等を受験する生徒の検定費用実額の全額を補助します。（同一検定同一級につき1回限り）

6 垂水高校の生徒数の推移



23年度から25年度は、生活デザイン科は増加傾向にあったものの、普通科が減少したため、総生徒数は減少に。26年度からは、普通科が増加傾向にあり、生活デザイン科も平成27年度に減少したが、28年度には定員の40人に達し、総生徒数も過去5年間で最多となった。